



## 新年のご挨拶

梶原 建熙

あけましておめでとうございます。

皆様にはご健勝にて新年をお迎えのこことお慶び申し上げます。

浜松労災病院は昨年暮れようやく念願の新病棟に移転することが出来ました。このことは日頃の皆様の浜松労災病院への変わらぬ御厚誼の賜物であり深く感謝致しております。そして何よりも入院中の患者さんを始め、職員一同が新しい病棟で無事新年を迎えることが出来たことは大きな喜びであります。

この機会に基本計画策定よりずいぶん時間がかかったものようやく完成した新病棟の構造を簡単に紹介いたします。新しい病院へは未だ工事中のキャノピーを通り抜け中央玄関より、公募によって決まった浜松労災病院のシンボルフラワーであるタンポポの花をイメージ化したエントランスフロアを踏んで入って行きます。正面には初診や再診受付、会計などの総合受付部門と薬剤部のお薬渡しカウンターが、右手には病診連携室と予約患者さんのための受付などの外来部門となっています。その右隣は救急部門で、さらに進むとその奥は脳外科・整形外科・泌尿器科の外来があります。通路を挟んで内視鏡センターとレントゲン部門が集中的に配置されています。入り口から左側に行けばイトインショップや売店があり特にベーカリーショップでは焼きたてのパンが食べられるようになっています。

また医事課の前には当院建築工事中に発掘された弥生時代中期および後期の将監名遺跡からの出土物を静岡県埋蔵文化財調査研究所のご協力の下に展示してあります。エントランスフロアから緩やかに昇降するエスカレーターで二階に上がると、左手奥から皮膚科・精神神経科・内科各科・呼吸器外科・心臓血管外科外来があり、廊下を隔てて採血室・採尿室と様々な生理検査室が配置されています。エスカレーターを上がったところに設置された検査などの説明コーナーを挟んで右手には手前から外来化学療法室・形成外科・耳鼻咽喉科・外科の外来が、また廊下を挟んで眼科・婦人科・小児科の外来が有ります。婦人科と小児科の間にはプレイスペースが設けられ来院されたお子さんが安全に遊べるよう工夫されています。

またここにはお子さんや患者さんに利用していただくためいろいろな種類の図書を集めたコーナーを設けました。この階の東の奥には特別診察室が設けられ特定の感染症などが発生した場合に備え外部階段から一般外来と接触せずに入れるよう工夫いたしました。お入りになるとすぐ気づかれると思いますが、一階・二階の廊下ホスピタルモールが非常に広く取ってあります。これは今近い将来に来襲が非常に心配されている東海大地震などの災害時に備えたもので、万が一の場合は一階のこの空間に可能な限りの負傷者を収容出来るようになっています。勿論新病院は免震構造です。またこの外来部門の中央部には苔と御影石をモザイク様に配置したそれぞれ2層のガーデンテラスを2カ所に設けることで空間的な余裕を取り、来院された皆様に少しでも病に対する心の緊張を解いて頂くよう配慮いたしま

した。病院中央部に設置されたエレベーターで上がりますと三階には7つの手術室を持つ手術部門・7床の人工透析室が配置されています。入院病棟は原則としては混合病棟ですが、3階東は呼吸器内科・呼吸器外科、3階西は循環器内科・心臓血管外科病棟・ICUの、4階東は消化器内科・外科の、4階西は神経内科・腎臓内科・内分泌内科・眼科・耳鼻科の、5階東は脳神経外科・小児科・形成外科・リハビリテーション科の、5階西は整形外科・泌尿器科・婦人科が主としての病棟として整備され、それぞれ病態を意識した病棟構成となっています。病床はいずれも木調を中心とした落ち着いた雰囲気統一されています。

6階にはリハビリテーション部門があり将来的には屋上のスペースを用いたリハの実施を考えています。またこの階には約100名は収容出来る大会議室があり、そのほか中小会議室を設けています。東北のコーナーにはよく晴れた日には遙かに富士山が望める展望レストランを開業いたしました。その名称も公募により病院がいつもかくあれかしと願って[和み]と名付けられました。

しかしながら、病棟は移転致しましたが、まだ昭和42年の創立以来慣れ親しんで来た今までの建物を取り壊さなければなりません。外構工事を含めこの工事は今年の10月までなお掛かる予定です。そのあとには木立の中におよそ500台の車の収容が可能な駐車場が出来る予定です。黄色を主調とした病院の建物は白樫や合歓の木とほとんどの木などの木立の中に佇み、夜間には病院正面にLEDによる樹木などの図柄が照明され、誰にでも安らぎを与える暖かな病院となります。

さて、昨今の医師・看護師不足によりかつては当院も病床を減らさなければならない事態に至りましたが、今回は当初予定より多く312床で出発いたします。また、医師の引き上げなどで休診科が続出し地域住民の皆様や開業医の皆様これまで多大のご迷惑をかけて参りましたが、今年の4月までに消化器内科内視鏡治療の本格的な取り組み、皮膚科の外来再開、婦人科の常勤医の確保、急性期リハの取り組み、呼吸器内科や循環器内科、乳腺外科の充実など徐々に病院機能を高める方向で努力しております。これまで以上に皆様に安心して頼られる病院を目指して参りたいと決意しております。

本来ならば移転前の昨年末にでも日を設け新病棟の内覧会を開催し、皆様に真新しい病院を見ていただきご批判を賜る機会を作るべきところでしたが、現在なお工事中のこととて周囲が極めて乱雑であり、その上見学途中に万が一皆様何か支障が起これば誠に申し訳なく、この時期での内覧会を断念致しました。それに代え全てが完成した本年11月に竣工式を予定しております。その機会にはその時点での可能な限り病院内を供覧致したいと思っています。是非お出掛け下さい。

新インフルエンザなどまだまだ油断のならない流行病が続きます。おからだを十分ご自愛の上よい一年を過ごされますよう祈念しております。本年もよろしくお願い致します。

## 新病院のスタートです

昨年の12月21日に引越を終え、新しい病院で新年のスタートとなりました。

心も新たに職員一同、地域医療に取り組んで参ります。

今後、旧病院を取り壊し、駐車場の工事に入りますが何かとご迷惑をお掛けいたしますがご協力をお願いいたします。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

## 受診申込書の変更について

昨年末、長い間、待ち望んだ新病院に移転し、ここも新たに業務に携わっています。

地域医療連携室は、正面玄関の右隣にあり、オープンカウンターで紹介患者窓口と並列し、広い窓口で対応しています。以前より対応がし易くなりました。

新しい案内図をお送りいたします。また前回、受診申込書のご意見を検討した結果、保険情報が控えに出来るように3枚複写と致しました。

今後ともより一層のご支援をご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

(地域医療連携室)



【地域医療連携室・予約センター受付】

## 新しく診療科が変わりました

下記のとおり診療科が標榜変更となりましたのでご案内いたします。

呼吸器科→呼吸器外科・呼吸器内科

循環器科→循環器内科

## 皮膚科外来を再開します

皮膚科外来が1月7日より毎週水曜日に診療が再開されました。よろしくお願い申し上げます

## バレンタイン・マンモグラフィー

バレンタインデーにマンモグラフィ検診を行います。

お仕事をされている方等、休日を利用して健診を受けてみませんか。

今回は、浜松市発行の無料クーポン券をお持ちの方を対象に実施いたします。

事前予約制です。是非、ご利用くださいますようお願いいたします。

日時 2月14日(日) 8:00~12:00  
検診内容 マンモグラフィー及び視触診  
申込先 医事課健診係 Tel 053(462)1211  
※3月14日(日)も実施します



## 人事異動

(採用) 平成21年12月7日付け

消化器内科部長

みやち ひでゆき

宮地 英行

【専門分野】

消化器内視鏡

【資格等】

日本内科学会認定医

日本消化器病学会専門医

日本消化管学会胃腸科認定医

日本アレルギー学会アレルギー感染症認定医



よろしくお願い申し上げます。

平成22年1月1日付け

化学療法科部長 呼吸器内科部長兼務

さとう まさき

佐藤 雅樹

【専門分野】

呼吸器内科

【資格等】

日本内科学会総合内科専門医

日本呼吸器学会専門医・指導医

日本呼吸器内視鏡学会専門医・指導医

日本アレルギー学会専門医

日本感染症学会専門医

インフェクションコントロールクター

